

チクッと痛いメリケントキンソウ

4月から8月頃、公園の芝生に手をついた時に、小さなトゲの付いた丸いものが刺さったことはありませんか？これは、都市部で分布を拡大しつつあるメリケントキンソウという外来植物の果実です。



手のひらに刺さったメリケントキンソウの果実



メリケントキンソウの果実（スケールは1mm）



公園に生えるメリケントキンソウ



一円硬貨との比較

メリケントキンソウ (*Soliva sessilis*) は、南アメリカ原産のキク科一年草で、公園や河川敷などの日当たりの良い場所に生えています。

秋から春にかけて発芽したメリケントキンソウは、4月から5月頃に大きく成長して花を咲かせます。その後、6月には枯れてしまうものの、周辺には多くの果実が残っています。乾燥した果実は手のひらに突き刺さるほど堅く、これが靴底などに付着して運ばれ、分布が拡大していると考えられています。

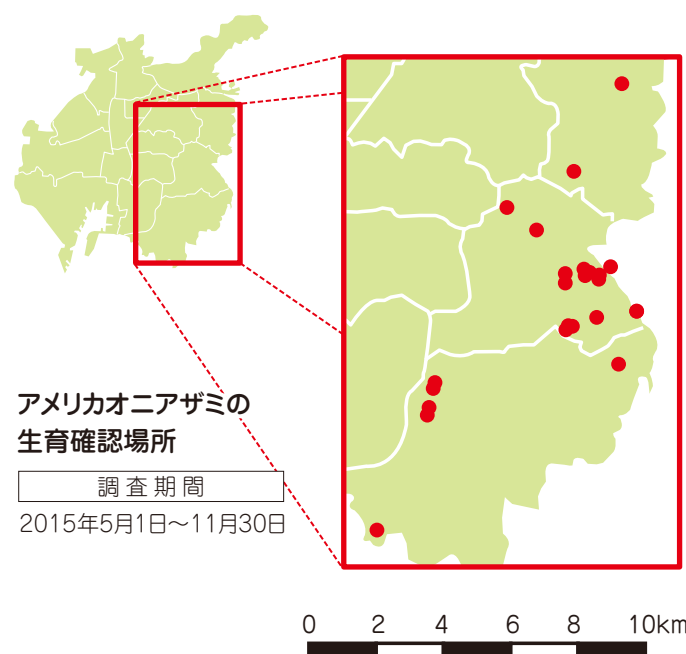
芝生に手をついたり、裸足で歩いたりする際に、トゲが刺さってケガをするおそれもあるため、爆発的に広がる前に対策を講じる必要があります。しかし、草丈5~10cmで地面を這うように生育していることから草刈りにも強く、手作業による抜き取りを広域で実施することも非現実的であり、今のところ有効な策は見つかっていません。今後、良い方法が見つかることに期待したいものです。

公園などを利用した際には、靴底に果実が付着していないか確認し、付着していた場合には果実を取り除くなど、生育地の拡大を防止する必要があると考えています。
(生物多様性専門員 中村 肇)

アメリカオニアザミの生育状況調査

生きものシンフォニー 16号 (平成27年10月発行) で『痛っ!街中に生えるトゲのある植物』と題してアメリカオニアザミを紹介しました。

今回、名古屋市天白区を中心にアメリカオニアザミの生育状況を調査した結果、幹線道路に設けられた植樹帯で大きな群落が確認されました。今後これらの植樹帯に沿って分布を拡大していくことが懸念されます。



アメリカオニアザミの生育確認場所

調査期間
2015年5月1日~11月30日

0 2 4 6 8 10km

アメリカオニアザミの調査記録については、機関誌『なごやの生物多様性』第3巻にも投稿しましたので併せてご覧ください。

(生物多様性専門員 中村 肇)

東海中学校・東海高等学校 生物部



東区筒井一丁目2-35



東海中学・高校の生物部は、中高合わせて約50名が在籍し、50年以上続く伝統の蝶の飼育研究をはじめ、魚・蛾・甲虫・粘菌などについて、班に分かれて採集・展示・標本づくりを行っています。

また、恒例の野外活動として、新入部員歓迎会を兼ねた金華山採集会、山海採集会(春~秋)、夏合宿、灯火採集などを行っています。平和公園で毎月行っている灯火採集は4年目を迎えました。今年度は夏合宿を3回行い、冬は鳥羽水族館のバックヤードツアーや、静岡県掛川花鳥園にも行きました。最近では、東区で確認された外来種のセアカゴケグモの調査も行いました。

こうした活動の大半は、生徒が自分たちでやりたいことを見つけて企画しており、どんどん活動の幅が広がっています。土日や夏休みには仲間たちで採集へ出かけたり、修学旅行ではその土地にしかない生物を求め、網持参で参加するなど、一人ひとりの好奇心や行動力にあふれた取り組みのおかげで、大学の先生や専門家との幅広い

繋がりも築くことができています。

また、「なごや生物多様性センターまつり」への出展のほか、「生物多様性ユースひろば」、愛知高文連の研究発表会、文化祭など、様々な場で発表を行っています。生徒・教師・父母・NPO等がボランティアで運営する「愛知サマーセミナー」でも展足講座を行いました。

今年は、平和公園に蛾がどれだけのいるのかなどの統計をとり発表する計画も進めています。



掲示板

機関誌『なごやの生物多様性』第3巻を発行しました!

なごや生物多様性センターでは、地域で実践されている調査・保全活動等によって得られた、なごやの生物多様性に関する情報を、正確に記録し広く発信するため機関誌を発行しています。第3巻では、タモロコに関する原著論文やハッチョウトンボと思われる過去の記述、明徳公園の蜻蛉と蝶の記録、市内で発見されたタイリクシジミの記録、マメナシ自生地分布に関する活動報告など、様々な内容が掲載されています。興味のある方は、ぜひ一度ご覧ください。機関誌はセンターウェブサイトや名古屋市立図書館でご覧になれます。



第4巻 投稿募集

平成28年度に発行予定の第4巻の投稿を募集します。どなたでも投稿できます。市民、保全団体、専門家、行政に所属している方など、広く投稿を募集しています。また、内容や投稿区分についても、学術的知見を記した原著論文、調査保全活動で得られた結果等を記した記録、報告および生物目録など、幅広い内容の文章を募ります。投稿規定をお読みいただき、ぜひご投稿ください。投稿期限：平成28年8月31日
センターウェブサイト：<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity/>

標本を 寄贈いただきました

平成27年12月21日に伊藤昌子様、加藤聖子様、佐藤聖紀子様、森川晴つみ様から、平成28年2月21日に鳥居ちよ子様、渡辺幸子様から、植物標本を寄贈いただきました(五十百種)。また、柴田良成様から、クモ標本を寄贈いただきました。今後、センターにて整理し、收藏します。ありがとうございました。

問い合わせ・申し込み先

発行：名古屋市環境局なごや生物多様性センター

住所 〒468-0066 名古屋市天白区元八事五丁目230番地
(地下鉄塩釜口駅2番または3番出口から徒歩5分)

電話 052-831-8104(平日 8:45~17:30) FAX 052-839-1695

E-mail bdnagoya@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

なごや生物多様性センターウェブサイト
<http://www.kankyo-net.city.nagoya.jp/biodiversity>

名古屋市公式ウェブサイト
<http://www.city.nagoya.jp/> 検索

なごや生物多様性保全活動協議会 <http://www.bdnagoya.jp>

ウェブサイト QRコード



生きものシンフォニーのバックナンバーは、なごや生物多様性センターのウェブサイトでご覧いただけます。

生きものシンフォニー

いのちがやくなごや

18号

平成28年3月

生きもの大切さ、自然の大切さを再認識!

特集

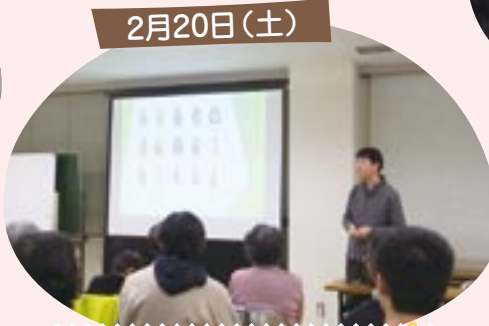
レッドデータブックから学ぶ 「なごやの生きもの」



1月31日(日)

陸生編

哺乳類 野呂達哉さん
は虫類 矢部 隆さん(写真)
両生類 藤谷武史さん



2月20日(土)

昆虫・クモ編

昆虫類 高崎保郎さん
戸田尚希さん(写真)
水野利彦さん
矢崎充彦さん
クモ類 須賀実文さん



2月6日(土)

空編

鳥類 小笠原昭夫さん(写真)



2月7日(日)

水辺編

魚類 谷口義則さん
カニ類 天野 勲さん(写真)
貝類 川瀬基弘さん



2月21日(日)

植物編

維管束植物 芹沢俊介さん(写真)
中村 肇さん
コケ植物 成田 務さん

CONTENTS

特集 レッドデータブックから学ぶ「なごやの生きもの」……P1~2

TOPICS	平成27年度 主な行事等の実績	……	P3
	都市にも順応したアライグマ	……	P4
	チクッと痛いメリケントキンソウ	……	P5
	アメリカオニアザミの生育状況調査	……	P5
活動紹介	東海中学校・東海高等学校 生物部	……	P6
掲 示 板	機関誌「なごやの生物多様性」第3巻の発行と第4巻投稿募集	……	P6

生きものの大切さ、自然の大切さを再認識!

レッドデータブックから学ぶ「なごやの生きもの」

「レッドデータブックなごや2015」の執筆者を講師に招き、陸生編、空編、水辺編、昆虫・クモ編、植物編の5講座を開催し、延べ271名に参加いただきました。なかには全講座に参加いただいた方も!

各講座では、レッドデータブック作成にあたっての難しさや苦労、生きものの生息・生育地を保全することの重要性、希少な生きものだけでなく普通に見られる生きものも大切だということなど様々な話があり、参加された方は執筆者の話に熱心に耳を傾けていました。また、質疑応答では、身近な生きものについての疑問から専門的な質問まで、講師と参加者で活発な意見交換が行われました。

参加者の感想

レッドデータブック
作りの大変さがよく
分かった。

本や写真では分らない
ことも、実際に調査さ
れている先生の説明で
よく分かった。

調査の大切さ、
普通種の大変さを
再認識できた。

自然の大切さに
ついて考えること
ができた。

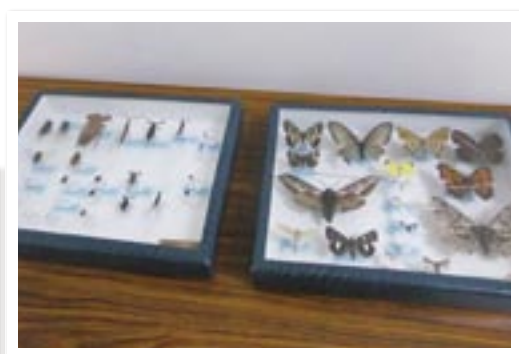
講座を通して、身近な自然に目を向けることの大切さや、生きものの生息・生育できる環境を少しでも多く残していくことの重要性、レッドデータブックに載っている生きものだけでなく普段見かける生きものも大切だということ学びました。



▲市内から絶滅したトンボ



▲カニの標本



▲昆虫標本



「レッドデータブックなごや2015」を配架しました

名古屋市立図書館、名古屋市環境学習センター（エコパルなごや）で
ご覧いただけます。なお、販売は行っていません。
市公式ウェブサイトから閲覧・ダウンロードすることができます。
レッドデータブックなごや2015概要版パンフレットも市公式ウェブサイト
から閲覧・ダウンロードすることができます。

市公式ウェブサイト：<http://www.city.nagoya.jp>

レッドデータブックなごや2015 検索



TOPICS

平成27年度 主な行事等の実績

植物の同定が
難しかった。



▲植物標本作製講座

標本の
作製過程が
よく分かった。



▲環境デーなごや2015出展

話が
分かりやすく、
楽しかった。



▲生物多様性カフェ

生きものを
見る目が変わった。
さっそく
観察に行きたい。

主催：センター …なごや生物多様性センター主催 協議会 …なごや生物多様性保全活動協議会主催
【 】内は開催場所。場所の記載のない行事はなごや生物多様性センター。

日付	名称【開催場所】	主催
平成27年		
4月30日	レッドデータブックなごや2015公表	センター
6月3日	スキルアップ講座(もっと知ろう水辺の隣人—カエル)	協議会
11日	第20回生物多様性カフェ ようかいたちのいるところ～里と人といきもの～	センター
7月7日	植物標本作製講座(初級編・7月)	センター
11日～8月12日	なごや生物多様性サマースクール2015(13講座)	【各所】協議会
16日	第21回生物多様性カフェ 世界の生物多様性の現状を考えてみよう	センター
29日	北村環境副大臣のセンター視察	
8月4日	植物標本作製講座(初級編・8月)	センター
9月2日	植物標本作製講座(初級編・9月)	センター
6日	スキルアップ講座(漁網体験)	協議会
19日	環境デーなごや2015中央行事に出展【久屋大通公園】	
10月2日～7日	なごや生きもの一斉調査2015～カマキリ編～【96箇所】	協議会
7日	植物標本作製講座(初級編・10月)	【名城公園】センター
25日	天白区区民まつりに出展【天白公園】	
11月1日	第2回なごや生物多様性センターまつり・生物多様性ユースひろば	センター
3日	なごや生きもの一斉調査2015～カマキリ編～講演会・中間報告会	【名古屋工業大学】協議会
10日	植物標本作製講座(初級編・11月)	【牧野ヶ池緑地】センター
12月12日	第22回生物多様性カフェ 茶臼山高原の自然～ウソのようなホントの話～	センター
21日～22日	植物標本作製講座(初級編・12月)	センター
平成28年		
1月30日	第23回生物多様性カフェ 見れば見るほど面白い!フナムシを追いかけて	センター
31日	レッドデータブックから学ぶ「なごやの生きもの」陸生編	センター
2月	機関誌「なごやの生物多様性」第3巻発行	センター
6日	レッドデータブックから学ぶ「なごやの生きもの」空編	センター
7日	レッドデータブックから学ぶ「なごやの生きもの」水辺編	センター
20日	レッドデータブックから学ぶ「なごやの生きもの」昆虫・クモ編	センター
20日～21日	第2回にしゅうまるプロジェクトパートナーズ会合に出展【名古屋大学】	
21日	レッドデータブックから学ぶ「なごやの生きもの」植物編	センター
3月26日	第24回生物多様性カフェ アサギマダラの謎を追いかける旅	センター
通年	なごやエコスクール出前講座(全5校)	【学校またはセンター】センター
通年	アライグマ防除	【各所】センター
通年	市民協働による調査保全活動	【各所】協議会
通年	定例会(学びあう会)毎月第一水曜日(全12回)	協議会



エビザバス



だなも
「生物多様性キャラクター応援団」

生物多様性カフェの実施にあたり、
ご協力いただいています。



【協賛】株式会社坂角総本舗、
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
【運営補助】名城大学ボランティア協議会
(敬称略五十音順)

「市民生きもの調査員」に
登録しませんか?

生物調査や講習会、イベントなどの実施情報を直接メールでお届けします。
どなたでも登録できます。詳しくは協議会ウェブサイト!

都市にも順応したアライグマ

アライグマは北アメリカ原産の外来種です。日本では1970年代にアライグマを題材としたアニメが放映され、ペットとして多くのアライグマが輸入されました。しかし、成長すると性格が荒々しくなる個体が多く、飼いきれなくなって野外に放されたり、もしくは檻から逃げ出したりなどした個体が繁殖・増加し、全国各地で定着が進みました。

現在では『外来生物法』により『特定外来生物』に指定されており、飼育・保管すること、生きたまま運搬すること、野外に放つことなどが原則禁止されています。

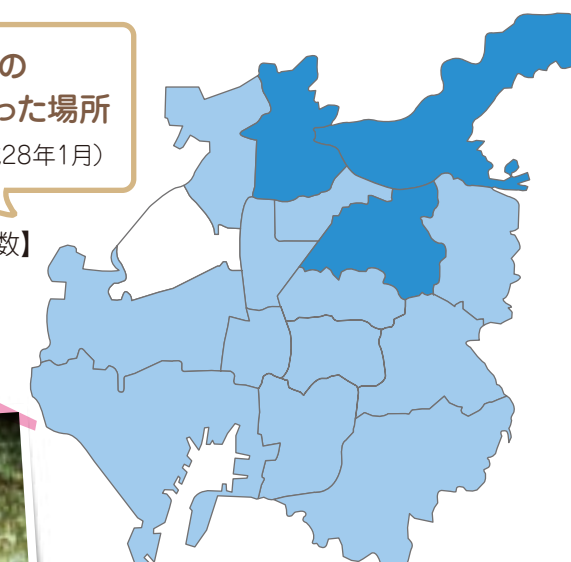


アライグマ
の特徴

アライグマは、緑地やため池だけではなく、市街地にも順応して分布を拡げました。

アライグマの
目撃情報等があった場所
(平成27年4月～平成28年1月)

【情報が寄せられた件数】
□ 0
■ 1～10
■ 11～30



アライグマを見かけたり、被害にあたりした場合は、センターに情報をお寄せください。

どんな被害があるの

- 👉 人家や倉庫に侵入し、糞尿で汚したり、すみつく
- 👉 庭の池のコイや金魚を食べる
- 👉 ペットのエサや農作物を食べる
- 👉 ごみをあさる
- 👉 在来種を捕食したり、在来種の生息場所を奪う

被害に遭わないために

- ☑ エサになるものを放置しないようにしましょう。
- ☑ 家屋への侵入を防ぎましょう。
- ☑ 見かけても近づかないようにしましょう。

生きものを野外に放さないで

外来種の中には、ペット由来のものも少なくありません。ペットは命ある生きものです。飼う前には、どのくらい大きくなるのか、寿命はどのくらいかなど、事前によく調べて、飼ったら最後まで責任をもって飼いましょう。ペットを野外に放すと、もともとそこにいた生きもの(在来種)のすみ場所や食べ物などを奪うなど、生態系に悪影響を及ぼすおそれがあります。また、農業被害や生活被害を引き起こすかもしれません。一度定着した外来種を完全に防除することは大変難しいため、生きものを野外に捨てないことが大切です。